

平成23年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 大慈弥勒園

No.1

1. <<平成23年度法人ヴィジョン>>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <<大慈弥勒園基本方針>>

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的、肉体的な援助を行なう。又、ゲストの皆様との人間関係を深め、笑顔を忘れず“生活の場”として、利用された方やご家族に満足していただけるサービスを提供する。特養においては、認知症専門棟及び一般棟の特色を活かしたケアができる様努める。

3. <<ケア部門>>

<5ヵ年計画>

●最終目標

- ①『ふあつとほむな生活を目指す』

※ふあつとほむとは、和みのある家庭的な雰囲気の中で、人と人とのつながりを大切にすること

- ②『一人ひとりが輝き、あなたが主役になる場所を目指す』

●中期目標

- ①経営理念やヴィジョンを全員が把握し、徹底していくことで特色ある施設作りができる。
- ②職員レベルを向上させプロ集団を形成すると共に、サービスの質を向上させる。

●23年度重点目標

『トイレでの座位排便の安定化を図る』 ※実施対象の全ゲスト

☆日中オムツゼロへの取り組みとは

22年度より、介護専門研修（老施連主催で講師は竹内孝仁教授）に参加する事となったのを機に、本格的な取り組みを開始した。具体的には、竹内理論（水・飯・クソ・運動）を基礎に、当園では、『日中の失排便がない状態にする』という定義を基に実施している。

これまでの介護現場は、寝たきりでオムツで入所してくれば、例外を除きそのままの状態を維持する取り組みを行ってきたが、介護職は本来、どのような方であっても自立支援を目指すべきであり、そのような発想はなかった。

これまでの現状を打破し、この取り組みを通して、介護職の専門性を向上させ、組織力を高めると共に、全ゲストに有意義な生活を送ってもらえる事を目的としている。

☆具体的数値目標（対象者）

水分摂取量・・・平均1,400ml 摂取

食事摂取量・・・平均9割摂取（常食）

排便・・・日中便失禁50%減（下剤なし）

運動・・・毎日100m歩行

○部門別目標

◎プラム棟：『自立支援論を基とした介護の展開を図る』

- A) チーム力及び職員個々のスキル向上
 - ・部門を設置し、話し合いの場を設け、縦の関係を強化する。
 - ・職員研修を1回/月開催し、講師を部門毎に持ち回る。
- B) 情報収集・分析
 - ・ADLをより詳細に観る視点を持つ。
 - ・御家族とより綿密なコミュニケーションを図り、生活歴を洗い出す。
 - ・各部門毎に役割を明確に持ち、情報共有する。
- C) 日常ケアのバリエーション増加及び統一
 - ・部門毎に根拠のあるケアを考案、実施する。
 - ・認知症の症状に応じたレクリエーションを考案、実施する。

◎一般棟：『自立支援実施の為に介護職としての専門性を高める』

- A) 理論の理解度をアップさせる。
 - ・アンケートを実施し現状の理解度を把握する。
 - ・必要に応じた勉強会を月1回以上行う。
- B) 各部門の目標達成率を100%にする。
 - ※ゲスト毎に必要な対応・対策を明らかにする。
 - ・水分のゲスト毎の目標値達成。
 - ・ゲストに応じた運動、歩行運動の実施。
 - ・ゲストに適した形態の食事の提供。
 - ・トイレでの排便の促し方の習得。
 - ・引き継ぎ、全体会議で周知徹底に努める。
 - ・生活歴を基にした対応を行う。

◎相談援助部門

- A) ゲスト個々の習慣や思いを大切にし、積み重ねられた経験を施設に於いても発揮でき家庭生活の延長線上にある事を基本としたケアプランの作成を行う。
 - ・個々の生活歴を基盤とした生活の確立。
 - ・アセスメント及びモニタリングの実施。
 - ・ゲストやご家族のご要望に応じた各専門職との調整。
 - ・6ヶ月毎のケアカンファレンスの開催。
- B) ゲストやご家族が気軽に相談に来られる様に、情報交換を密にとる。
 - ・介護主任と生活相談員が中心となり、各専門職等と相互連携を図る。
 - ・ご家族に面会時や必要に応じて、電話等で適時適切に介護主任と共に報告し、コミュニケーションを密にとることを心がけご家族の希望や意見を反映させる。
 - ・ケアカンファレンス時、ご家族に同席して頂き、書面・口頭にて近況報告を行う。
 - ・家族食事会や外出行事等でゲストと共にご家族とのコミュニケーションを図る。
 - ・状態に変化があれば、速やかに報告を行う。
 - ・新入所時は、1週間毎日状態の報告（電話・FAX等）を行う。
 - ・苦情相談件数を50%削減（22年度比）

4. <<経営部門>>

<目標>

- ①充足率99%維持を目指し、経営基盤の安定を図る。
 - A) 各部署等と共同し、ゲストの疾病予防策を検討して健康維持を図る。
 - B) 入所待機者との関わりを増やし状況を把握する。上位3名の面接を常に行い、スムーズな入所を目指す。緊急入所についても率先して行動する。
 - C) 総務部と共に経営分析を長期・中期的に行い健全な経営を維持する。
 - D) 介護福祉士の合格率100%を目指す。
- ②新たな加算取得を目指し収入アップを目指す。
 - A) 認知症専門ケア加算の取得を目指す。
- ③24年度制度改正への対応を図る。
 - A) 介護・医療・会計等の制度改正への対応
 - ・研修会等へ参加し、変更内容を確認する。
 - ・会議等を利用し、変更内容の周知徹底と対策を検討する。

5. <<栄養科>>

<目標>

- ①栄養ケア計画を他職種で共有することができる
 - A) 栄養ケア計画、アセスメント・モニタリング様式を変更し、現状よりも個人別に実施・評価を行い易くする。
 - B) 給食会議にて、個人別の計画進行状況を確認し、低栄養リスク別に定められた期間において個別に評価・計画変更を行う。
- ②誤嚥事故0パーセントを目指す
 - A) 給食会議を活用して他部署間で情報を共有し、勉強会を行う。
 - B) 安易に食事形態を変えるのではなく、他職種で食事形態を見直し、状態にあった食事内容を提供する。
- ③厨房改造案を完成させる
 - A) 定期的に外部業者との会議を行い、厨房改造案を完成する。
 - B) 委託業者との人事について話し合い、短期的、長期的に厨房業務を円滑に進める。
 - C) ケアハウス大慈栄養科と連携し業務の効率化を図る。

6. <<看護部>>

<目標>

- ①施設内において、看護職員の役割を理解し、業務改善及び組織作りに努める
 - A) 職員間の連携強化と申し送り機能の充実を図る。
 - B) フロア配置の実現に向けて取り組む。
 - C) 看護業務の見直しや改善を図る。
- ②ご家族等に関係書類への理解度を高める
 - A) ゲスト及びご家族の意思確認を行う。
 - ・リビングウィル（生前意思確認表）を用いて説明する。
 - B) 看取り介護についての同意書及び緊急時の対応や医療的ケア等の書類について、ご家族等へ説明し、同意いただける様努める。

<年間業務>

月	項目	内容
5月	弥勒園（1回目）入所者定期検診	胸部X線、採血
6・7月	弥勒園全職員定期検診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、 腰椎X線（CWのみ）
11・12月	ゲスト・全職員	インフルエンザ予防接種
	弥勒園（2回目）、入所者定期検診	胸部X線 採血等
1月	弥勒園（CWのみ）定期検診	採血

<週間診療表>

曜日	午前 午後	医師名	診療科目	頻度
月	午前・午後	坪内淳一	内科	毎週
火	午前・午後	坪内淳一	内科	毎週
	午後	松尾信二	精神科	毎週
水	午前	真継 猛	整形外科	毎週
	午後	松浦 肇	皮膚科	月2回
		榎林義雄	歯科	毎週往診
木	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	坪内淳一	内科	毎週
金	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	坪内淳一	内科	毎週
		森 啓行	糖尿内科	毎週
土	午前	坪内淳一	内科	毎週

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診。

7. <<理学療法科>>

<年間計画内容>

ゲストのADLレベルの状態を観察すると同時に、必要であると判断すれば、そのゲストの状態に適合したリハビリ項目を計画・施行する事で、レベル低下を最小限に抑え、同時に現場への対応策を指示・報告する事で二次的・三次的リスクを未然に回避する役割を担う。

<実践目標>

①個別機能レベルの評価

A) 生活対応の見直し（個別対応）・・・年2回

B) 残存機能レベル評価・・・年2回

②早期対応

A) 状態変化に対して早期の対応・・・随時

B) 現場対応策の提言・・・随時（年2回のリスク研修等）

8. <<大慈園の特徴>>

①入浴

A) 特浴（週2回）→座位式の機械浴にて、寝たきりの方でも安心して入浴できる。

B) 中間浴（週2回）→家庭用の浴槽を使用し、職員がマンツーマンで対応する事で、認知症の方や障害をお持ちの方でも安心して入浴できる。

C) 一般浴（週 2 回）→主に自立歩行者を対象とし、循環式の大浴場にて、安心して入浴できる。

☆ゲスト個々の状態に合わせた入浴形態を考案・実施する。

②排泄

A) トイレ誘導→オムツ外しを積極的に行い、ゲスト個々の尿間隔に合わせた援助を行う。

B) オムツ交換→定時 4 回交換実施。排泄アセスメントから個々の尿量に合わせてオムツの種類を決定し、個別援助を行う。

☆ゲスト個々の状態に合わせて随時サービスを考案・実施する。

③食事

A) ホールにて食べて頂く事を基本とし、ゲスト個々の状態に応じて、ソフト食・スルー食等を提供する。

B) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する。

C) 疾病に応じた療養食を提供する。

④生きがい作り

A) お誕生会を従来型（月毎に全員実施）から、生まれたその日にお祝いする。

B) ご家族との交流の場を提供する（家族食事会等）。

C) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する。

D) 地域との交流を促進する。

E) おやつ作りを実施する。

F) 音楽療法を実施する。

⑤機能回復訓練

A) 機能回復訓練士が、随時リハビリを行う。

B) 機能回復訓練士の指導のもと、生活リハビリを行う。

C) 生活リハビリを積極的に行いADLの維持 向上を目指す。

D) 食事は、ホールにて食べて頂く事を基本とし、離床を促す。

9. <<委員会活動等>>

	内容
委員会名	大慈園事故再発防止委員会
頻度・時間等	毎月第二水曜日 14時～16時
目的・内容等	事故発生防止のための指針に基づき、マニュアル作成・事故報告書の検討・職員研修等を検討・実施する。又、部署内で、事故検討委員会を設置し、事故の再発防止を図る。
目標等	①職員のミス（うっかりミス）による事故が減少しない事から、付き添い・見守り時の事故発生率0%を目指す。 ②過剰介助による機能レベル低下の防止を図る。 ③レベル変化に伴う適切な対応策が事前に行えるようになる。 ④同様（似た様な）ケースの事故報告件数が減らない事から、類似事故報告の共有が出来る事で対応能力の向上を図る ☆研修会→7月・2月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園サービス向上委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 15時～16時
目的・内容等	大慈園のサービスに関する、苦情処理・食事・入浴・排泄・看取り等の検討及びアンケート調査・研修を通じて職員の資質向上を図る。
目標等	①各委員会の情報交換及び共有化を図り、顧客満足度の向上を目指す。 ②ゲストやご家族からの苦情・相談受付の対応が充分とはいえない為、職員一人一人のスキルアップと、相談受付件数の増加を図る事で、苦情件数の削減を図る。 ・各部署毎月最低5件報告 ③コンプライアンスに対する関心が希薄である事から、各自の意識向上を図りそれぞれの持ち場での意識向上を図る。 ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園感染症防止対策委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 14時～15時
目的・内容等	感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。
目標等	①発症時の対応に関しては徹底されてきているが、予防段階での対策を強化、共有する必要がある為、園内での感染症発症率0%を目指す。 ②職員のマニュアルの習熟度が低い事から、意識の向上を図る。 ☆研修会→7月・2月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園給食委員会
頻度・時間等	毎月第一水曜日 16時～17時
目的・内容等	栄養科が中心となり、各部署の食事係が食事形態等について協議する。
目標等	①誤嚥・誤嚥性肺炎の理解を深め、誤嚥事故の防止を図る。 ②嚥下困難者に対し安全でおいしく食事を食べて頂く ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園行事委員会
頻度・時間等	毎月第三月曜日 14時～16時
目的・内容等	機関紙の編集・発刊や秋祭り・地蔵盆等の施設全体で行う行事の計画及び実行を行う。また、随時ホームページの更新も行う。
目標等	①機関紙『だいじの森』を年2回発刊する。 ②地蔵盆を開催する。・・・地域住民が対象 ③秋祭りを開催する。・・・ゲスト、ご家族が対象 ④その他の行事の開催及び職員交流会の実施をする。 ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園マニュアル委員会
頻度・時間等	毎月第二第四土曜日 18時～20時
目的・内容等	全体のマニュアルの作成及び更新を行う。
目標等	①老人部門での各種届出様式等を統一する。 ②業務マニュアルの更新をする。 ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園マナーアップ委員会
頻度・時間等	毎月第四木曜日 15時～16時
目的・内容等	一般常識、慣例である言葉使い等をマニュアルを基に向上させる。
目標等	①全職員が気持ち良い挨拶を行い、ゲストやご家族が話しかけやすい環境作りを目指す。 ②外部から見られても恥ずかしくない環境を作り、安全な環境を作るよう職員全員が常に心がける。 ③部会・委員会を含む議事録の適切な書き方及び内容の記述が分かりやすく、適切に正規職員全員が書けるようになる。 ④前年自己マナーチェック・他者評価チェックの改善が全員できている。 ⑤きれいな言葉・誰が聞いてもおかしくない言葉をう。 ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園看取り介護委員会
頻度・時間等	毎月第四月曜日 14時～16時
目的・内容等	看取り介護においての、カンファレンスや知識向上を行い、理念である「当たり前のあるがままの生活、我が家のような生活」ができる様環境作りを行う。
目標等	①終末期における身体変化（危篤状態含む）を学ぶと共に、食事介助の必要性を考える。 ②看取りに関わる人が、最終の評価まで目を通し、次に生かせるようにする。 ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園褥瘡防止委員会
頻度・時間等	毎月第四月曜日 14時～16時
目的・内容等	褥瘡や表皮剥離等の原因分析及び対策を検討し、職員の資質向上を図る。
目標等	①発生件数0件を目指す。 ・発生原因を取り除く ・褥瘡について知る ・治療の評価 ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	オムツゼロ委員会
頻度・時間等	毎月第三月曜日 16時～17時
目的・内容等	施設長以下、各専門職が協議し、ケア方針への助言、全職種での取り決め、協力体制の確保等を検討し、下剤を使用せず、日中の座位排便を目指す。(アテント式おむつでの排便ではなくトイレでの排便を目指す)
目標等	①実施対象者の全ゲストのトイレでの座位排便の安定化を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランへの反映→CM ・ゲストの内服薬の調整・健診データ更新→医務 ・運動面の助言・実施・評価→機能回復訓練士 ・スクリーニング→栄養科 ☆研修会→4月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園非常災害時対策委員会
頻度・時間等	毎月第四水曜日 午後15時～16時
目的・内容等	非常災害時(地震、火災等)に対する防災意識向上や警戒発令時の敏速な対応等、総合的な推進を図り、被害の軽減を図る。
目標等	①毎月訓練を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> ・消防署立ち会いによる避難訓練等の実施を行う。 ・通報訓練を年3回実施 ②職員研修等を利用し、防火・防災教育の実施を行う。 ☆研修会→毎月予定

	内容
委員会名	大慈園人事委員会
頻度・時間等	年4回開催
目的・内容等	人事考課結果から、全職員の検討を行う。又、人事制度に関する検討を行う。
目標等	①基準に則した正しく公正な考課ができる。 ②目標管理制度の確立。 ☆研修会→5月・3月の年2回予定

	内容
委員会名	医療的ケア委員会
頻度・時間等	毎月一回
目的・内容等	介護職員による医療的ケア体制の構築等
目標等	①指針及び同意書の策定を行い、ご家族等へ説明する。 ②ヒヤリハット事例からリスク検証。 ☆研修会→5月・3月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈厚生事業会研修委員会
頻度・時間等	毎月第一水曜日 10時～12時
目的・内容等	法人全体で行う研修会の企画・立案・実行及び研修システムの構築
目標等	①トータル人材マネジメントシステムの構築を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度見直し ・職務基準書（マニュアル）見直し ・研修体系の構築 ・給与制度の見直し

研修会名	対象者・内容等	頻度等
①新人研修	新卒採用者及び中途採用者を対象	4/1～30の 一ヶ月間
②中途採用者研修	①を受講できなかった中途採用者対象	9月・1月の 年2回
③1等級ステップアップ研修	次等級へ昇格するための研修	1月
④2等級ステップアップ研修		12月
⑤3等級ステップアップ研修		2月
⑥4・5等級ステップアップ研修		3月

10. ≪職員会議等≫

頻度	会議名			
月1回	正副施設長会議	あんすこ部会	1・3会議	主任会議
	全体会議	仏間会議	会計会議	事務部会
随時	ケアカンファレンス	医務部会		

11. ≪衛生≫

害虫駆除（年2回）、口腔ケア（毎食後）、寝具交換（週1回）

12. ≪苦情処理≫

各部署に担当者を明記し随時受け付け口頭・書面で上司へ報告し敏速で確実な対応を行う。

13. 《月行事・行事食予定》

月行事	頻度	行事食	頻度
家族食事会、理髪、チェリッシュパン販売、たこ焼きパーティー	毎月1回	家族食事会、手作りパーティー	毎月1回
ミュージックセラピー	毎月曜日	行事食（赤飯）	毎月1日
パン販売	毎週水金曜日	おやつ作り	月1回
買い物外出、コーヒー喫茶、化粧療法、	月2回	選択食（朝食）	毎日
ビデオ上映会、カラオケクラブ、嚙下体操等、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩、学習療法、農園	随時	誕生会	誕生日、28日

14. 《年間行事・行事食予定》

月	年間行事	行事食	月	年間行事	行事食
4月	お花見	○	11月	焼き芋	○
5月	子供の日	○		寿司ツアー	
	母の日	○	12月	忘年会	○
6月	遠足			クリスマス	○
	父の日	○	餅つき	○	
7月	遠足		1月	元旦（正月料理）	1日～3日
	七夕	○		初詣	
8月	小さな秋祭り			七草粥	○
	野球観戦			鏡開き	○
9月	地蔵盆	○	2月	節分	○
	海上花火大会			バレンタインデー	○
10月	園庭花火		3月	ひな祭り	○
	敬老の日	○		遠足	
	釣り				
	秋祭り	○			
	串揚げ				

15. 《職員配置》ショート含む定員115名

施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	2名	1名	1名
看護職員	管理栄養士	介護職員（正職）	介護職員（パート）
9名	1名	24名	26名